



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 **santec Holdings株式会社** 上場取引所 東  
コード番号 6777 URL <https://www.santec.com/jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 元鎬  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 山下 英哲 TEL 0568-79-3535  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,647	14.6	1,752	3.4	2,232	8.5	1,599	7.1
2023年3月期第2四半期	6,675	83.8	1,694	168.5	2,057	202.8	1,493	183.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,064百万円 (7.5%) 2023年3月期第2四半期 1,898百万円 (226.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	136.01	—
2023年3月期第2四半期	126.97	—

(注) 2023年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	20,991	15,810	75.3	1,344.41
2023年3月期	19,605	14,334	73.1	1,218.86

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 15,810百万円 2023年3月期 14,334百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	8.2	3,700	△7.1	3,800	△10.5	2,700	△10.1	229.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	11,961,100株	2023年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	200,601株	2023年3月期	200,601株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	11,760,499株	2023年3月期2Q	11,760,507株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2023年11月15日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	(単位：百万円)			
	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比増減	
売上高	6,675	7,647	972	14.6%
営業利益	1,694	1,752	58	3.4%
経常利益	2,057	2,232	174	8.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,493	1,599	106	7.1%

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで、以下、「当第2四半期」）の世界情勢は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰等による物価上昇、円安を基調とした不安定な為替変動、部材の供給不足など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは2024年3月期の基本方針として「高付加価値な新製品を開発し市場牽引」を掲げ、事業活動に取り組んでおります。また、展示会イベントへの出展で製品PRを行うとともに、販売活動を強化しております。

当第2四半期の売上高は7,647百万円（前第2四半期比14.6%増）となりました。これは医療用及び産業用の光測定器の販売が好調に推移したことによるものです。

営業利益は1,752百万円（前第2四半期比3.4%増）、円安による為替差益の計上により、経常利益は2,232百万円（前第2四半期比8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,599百万円（前第2四半期比7.1%増）となりました。

なお、2023年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメントの経営成績は以下のとおりです。

## ① 光部品関連事業

	(単位：百万円)			
	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比増減	
売上高	1,544	1,359	△184	△12.0%
営業利益	221	47	△174	△78.6%

当事業では、主に光伝送機器メーカーに対して光モニタ、光アッテネータ、光フィルタ等の光通信用部品を提供しております。また、LCOS技術を利用した空間光変調器を光計測、光加工、光情報処理分野に提供しております。

当事業を取り巻く光通信関連市場につきましては、通信トラフィックの増加に伴い、世界各国で5G通信網やデータセンタへの設備投資が中長期的に継続する見込みですが、目下のところ、当社グループの取引先である光伝送機器メーカー等において在庫調整が続いております。

当第2四半期は売上高は1,359百万円となり、光モニタの売上減少により、前第2四半期の1,544百万円に比べ12.0%減少しました。セグメント利益は47百万円となり、前第2四半期のセグメント利益221百万円と比べ78.6%減益となりました。この理由は主に、製品ミックスの変化と回収可能性の判断に基づき棚卸資産評価損を計上したことによるものです。

当事業では取引先のニーズに応え、将来的な増収に繋げるべく、新製品の開発に積極的に取り組んでおります。当第2四半期においては、光信号の透過波長に加えて透過帯域幅の調整を行うことのできる超小型サイズの光フィルタ（製品名：MTF-VB）を開発しました。

## ② 光測定器関連事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比増減	
売上高	5,034	5,811	776	15.4%
営業利益	1,482	1,642	160	10.8%

当事業には(1)光通信用光測定器事業、(2)産業用光測定器事業、(3)医療用光測定器事業が含まれております。当第2四半期の売上高は5,811百万円と、前第2四半期の5,034百万円から15.4%増加しました。セグメント利益は1,642百万円となり、前第2四半期のセグメント利益1,482百万円に比べて10.8%増益となりました。

光通信用光測定器につきましては、市場全体として設備に関する受注が堅調で、昨年並みとなりました。将来的な増収に繋げるべく、当第2四半期における新製品として、フォトニック集積回路等の小型コンポーネントの分析に適した0-band 波長掃引型フォトニクスアナライザ(製品名:SPA-100)を開発しました。

産業用光測定器につきましては、日本における半導体シリコンウエハの製造に係る設備投資の需要が続き、前第2四半期比で増収となりました。また、主に中国において医療機器向け光源の販売が増加しました。

医療用光測定器につきましては、光学式眼内寸法測定装置(製品名:ARGOS®)の販売が前第2四半期に比べ増加しました。ARGOS®の販売代理店であるAlcon社と連携したマーケティング及び販売戦略が奏功いたしました。

今後の見通しは以下のとおりです。

世界経済は原材料・エネルギーの高騰が続き、需要の回復が鈍化するなど引き続き先行きが不透明な状況が続くものと想定しています。さらに、為替変動、世界的なインフレに加え、地政学リスクに起因する景気減速懸念があります。

光部品関連事業につきましては、光伝送機器メーカーにおいては在庫調整が続き、来年度中の需要回復を見込んでいます。一方で、データセンタ向けでスポット的な受注があり、下期での販売を見込んでいます。

光通信用光測定器事業につきましては、中国の光通信向けの設備投資は調整が続いておりますが、人工知能向けなど新たな分野での設備投資は増加傾向にあり、全体として下期にかけて堅調に推移すると見込んでいます。

産業用光測定器事業につきましては、半導体シリコンウエハの製造に係る設備投資の需要は下期にかけて堅調に推移するものと想定しております。

医療用光測定器事業につきましては、第1四半期(2023年4月1日から2023年6月30日まで)に出荷が滞った反動もあり当第2四半期は増収となりましたが、下期にかけて需要は落ち着くものと見込んでいます。

その他の事業のシステム・ソリューション事業につきましては、ランサムウェア対策ソフトウェアの需要が堅調に推移するものと見込んでいます。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末(19,605百万円)に比べ1,385百万円増加し、20,991百万円となりました。これは、現金及び預金、商品及び製品が増加したことによるものであります。

## ② 負債

当第2四半期末の負債は、前連結会計年度末(5,270百万円)に比べ90百万円減少し、5,180百万円となりました。これは、電子記録債務、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払法人税等、設備関係の電子記録債務等のその他の流動負債が減少したことによるものであります。

## ③ 純資産

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末(14,334百万円)に比べ1,476百万円増加し、15,810百万円となりました。これは、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に開示したのから修正はありません。

なお、本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は今後の様々な要因によって変動する場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,297,183	6,990,972
受取手形、売掛金及び契約資産	2,917,237	2,670,423
電子記録債権	36,117	28,988
有価証券	338,124	448,126
商品及び製品	572,675	960,313
仕掛品	625,482	623,689
原材料	988,436	1,083,869
その他	340,769	710,288
貸倒引当金	—	△2,130
流動資産合計	12,116,027	13,514,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,221,113	1,197,621
機械装置及び運搬具(純額)	44,631	49,096
土地	1,592,577	1,592,577
リース資産(純額)	33,583	32,218
建設仮勘定	22,475	5,495
その他(純額)	659,679	707,984
有形固定資産合計	3,574,061	3,584,994
無形固定資産		
のれん	739,960	782,027
その他	599,752	595,789
無形固定資産	1,339,713	1,377,816
投資その他の資産		
投資有価証券	2,160,940	2,111,142
長期貸付金	156,136	171,017
その他	258,414	231,596
投資その他の資産合計	2,575,491	2,513,756
固定資産合計	7,489,265	7,476,567
資産合計	19,605,292	20,991,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,537	568,314
電子記録債務	747,618	918,228
1年内返済予定の長期借入金	126,000	126,000
未払法人税等	951,389	708,270
賞与引当金	122,889	171,084
役員賞与引当金	87,900	62,811
その他	932,983	835,475
流動負債合計	3,452,318	3,390,186
固定負債		
長期借入金	995,500	932,500
退職給付に係る負債	614,006	632,654
資産除去債務	27,628	27,788
その他	181,478	197,077
固定負債合計	1,818,613	1,790,019
負債合計	5,270,931	5,180,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	7,781,589	8,793,090
自己株式	△97,649	△97,649
株主資本合計	13,871,972	14,883,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,208	162,682
為替換算調整勘定	365,180	764,749
その他の包括利益累計額合計	462,388	927,431
純資産合計	14,334,361	15,810,904
負債純資産合計	19,605,292	20,991,110

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,675,405	7,647,657
売上原価	3,024,639	3,665,302
売上総利益	3,650,766	3,982,355
販売費及び一般管理費	1,956,389	2,229,586
営業利益	1,694,376	1,752,768
営業外収益		
受取利息	60,455	74,630
受取配当金	3,824	4,005
受取賃貸料	23,472	25,302
為替差益	277,354	377,060
複合金融商品評価益	—	10,170
その他	21,663	15,883
営業外収益合計	386,770	507,052
営業外費用		
支払利息	1,188	1,145
複合金融商品評価損	2,396	—
賃貸不動産関係費用	18,731	17,959
原材料売却損	—	6,094
その他	1,468	2,553
営業外費用合計	23,784	27,752
経常利益	2,057,362	2,232,068
特別利益		
投資有価証券売却益	—	92,597
投資有価証券償還益	—	4,528
特別利益合計	—	97,126
特別損失		
固定資産除却損	657	235
投資有価証券売却損	—	911
特別損失合計	657	1,147
税金等調整前四半期純利益	2,056,704	2,328,047
法人税等	563,528	728,521
四半期純利益	1,493,176	1,599,525
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,493,176	1,599,525



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,493,176	1,599,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,857	65,474
為替換算調整勘定	332,937	399,568
その他の包括利益合計	405,794	465,042
四半期包括利益	1,898,971	2,064,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,898,971	2,064,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,056,704	2,328,047
減価償却費	250,228	257,705
のれん償却額	40,457	44,847
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,845	18,086
賞与引当金の増減額 (△は減少)	128,653	43,445
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,404	△25,088
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,512	2,130
受取利息及び受取配当金	△64,280	△78,636
支払利息	1,188	1,145
為替差損益 (△は益)	△151,843	△214,336
複合金融商品評価損益 (△は益)	2,396	△10,170
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△91,685
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△4,528
固定資産除却損	657	235
売上債権の増減額 (△は増加)	399,878	458,390
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△658,333	△431,693
仕入債務の増減額 (△は減少)	74,638	81,508
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,757	△170,983
その他	△67,690	△252,960
小計	1,986,828	1,955,459
利息及び配当金の受取額	63,636	73,985
利息の支払額	△1,188	△1,145
法人税等の支払額	△501,821	△1,002,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,547,455	1,026,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△205,792	△205,919
無形固定資産の取得による支出	—	△26,068
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△242,738	△316,391
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	132,880	518,980
貸付金の回収による収入	3,413	15,714
その他	20,334	1,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,902	△12,026
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△63,000	△63,000
自己株式の取得による支出	△42	—
配当金の支払額	△293,550	△589,082
リース債務の返済による支出	△1,501	△1,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,095	△653,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	292,779	319,597
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,190,237	680,184
現金及び現金同等物の期首残高	4,458,349	6,096,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,648,586	6,777,072

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによつて著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する適用指針」第15項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,544,625	5,034,438	6,579,064	96,341	6,675,405
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,544,625	5,034,438	6,579,064	96,341	6,675,405
セグメント利益又は損失(△)	221,822	1,482,402	1,704,224	△9,847	1,694,376

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 2023年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額により開示しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,359,795	5,811,092	7,170,887	476,770	7,647,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,359,795	5,811,092	7,170,887	476,770	7,647,657
セグメント利益	47,398	1,642,944	1,690,343	62,425	1,752,768

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、システム・ソリューション事業であります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。